

木協通信

★日田木材協同組合百年を語る

○明治維新に於ける日田林業と日田郡木竹商組合の誕生 続き

又他地方の人が入り込み、営業をする者も取締規則を履行するようにして、道路修繕の名義で同等の鑑札税を取り立て、その税金を修道費に組み込むよう御願いします。私共は数十年来これ迄道路に修繕を加え、数派の溪川をさらえもして来ましたが、その為に今日の運搬の便益を得ていることも少なくない。

次回続く

★日田市海外出荷対策協議会 韓国出張報告

平成26年3月18日～3月20日 3日間

韓国 釜山市他

参加者 瀬戸亨一郎、後藤作彦、高村行雄、諫本初美、小田宜男、高瀬部長、県2名、日田市3名、トライウッド2名 計13名
3月18日 水

韓国トライウッドを訪問した。住所は、慶尚南道 昌原市 鎮海區 龍院路ギル一一一四二



マンションモデルルーム

㈱トライ・ウッドの取引先である韓国トライ(株)のマンションモデルルームとコンテナハウスのモデルルームの内装部。マンション部分でも日田杉を使うとの事。

中国産杉集成材を比較対象とするためにモデルルーム内に置かれていた。事前のプレゼンではこのコンテナハウスが毎年3倍程度の販売棟数で増加する予定であったので、今後の販売促進が非常に期待される。

この地区でのマンション販売と並行して進められている加工展示施設群。昨年お邪魔した時からは考えられない位の設備投資がされていた。マンションに係る全ての物を扱いたいのか、インテリア、生活用品、戸建木造住宅、リフォームと網羅されている。そうである。

第29号
発行年月日
平成26年4月1日
日田市南友田100-1
日田木材協同組合
総務企画委員会発行
TEL24-2167

此方は併設された
マンションモデル
ムと全体の説明をす
る韓国トライの社長。
釜山新港にあ
る釜山経済特区局」



中国産杉集成材



マンション



歓迎の横断幕

へ移動し、この地域が東アジアのハブ港として期待されている事や、その物流を背景に世界有数の企業が集積しつつあるなどの紹介ビデオ(日本語での)を視聴した18日午後からの視察は以上となる。㈱トライウッドの取引先と云う事もあり当組合として、具体的な商談に発展する事はないであろうが、韓国国内での自然素材としての国産材



日田杉を使用した建物

を含む木材への関心は確実に高まりをみせているように感じる。又、今回お邪魔した際に先方の系列の新会社の社名が「韓国トライ(株)」というのも(㈱トライウッドとの関係性をイメージさせるものなのか、消費者への積極的なプレゼンテーションが垣間見れ興味深いものであった。

3月19日 木

盈徳風力発電団地内
国民休暇村(㈱自然と共に建設地)を訪問した。住所は、慶尚北道 盈徳郡 盈徳邑 昌浦里三二九一三



釜山港紹介ビデオ



韓国トライ社長

（株）自然と共にのキム社長が平成22年に来日して以来、大凡4年の期間を掛けやっと建物の完成をみた 国民休暇村 施設棟」を視察した。昨年1月には取付道路も出来ておらず大幅に工期が遅れた経緯もあり、今回も未だ完工には至らず民間事業では考えられない工期となっているようであった。しかし、肝心の木造施設はオンドル 韓国では必須の床暖房」も配備されあとは床材の施工のみとなっていた。因みにこの施設には当組合から阪和興業（株）を介し平成24年5月から平成25年10月までに約450㎡約20、800千円の取引が行われている。



施設棟と調査団



緑の上着が今回、研修先のリストアップをお願いした P A R K総合商社の朴 ペクビョン（ジュン）社長 月1回程度の頻度で来日しており対馬、四国、島根の業者と既に取りを行っている。今回、自然と共に」のルートが阪和興業（株）と、このP A R K総合商社となる可能性が出て来た。何れにしても、まだ若くフットワークの良いパク社長に今後の販路拡大を期待するところではある。

次に、（株）昌寧木材 代表者 趙キボンを訪問した。住所は、慶尚南道 昌寧郡 釜谷面 清岩里七一一三

P A R K総合商社が対馬から桧材を納材している製材業者。パク社長の話では 品質よりも価格優先の業者で単価の安い製品を多量に出荷する営業方針を取っているよう

だ。韓国ではやはり仁川 オンチョン」のメーカーの方が高品質を求める。」との事であったが、出来上がった製品を見る限り並材では日本産と何ら変わらない様に思えた。



対馬から輸出された桧材、長さは壁材使用の為、全て2.4m造材となっている。



対馬ヒノキ丸太

桧ブームに併せて設備投資されたであろう工場内。機械は大半日本製のものであった。



製材所

次に、（株）荷成木材 代表者 安光培を訪問した。住所は、慶尚南道 金海市 生林面 生林大路六六九一一三



オビスギ

此方の会社もパク社長が国産材を一部納材している。画像は宮崎から輸出された鉄杉の大径木。



鉄工所跡を改造し梱包材、杉で造られたベッド、桧枕など様々な製品造りに挑戦しているように思えた。



杉のテーブル

杉の無垢材で造られたベッドやテーブルの製品部。



ヒノキ 枕に使用

此方は桧枕のチップ材料。造れば売れるのだろうか・・・桧ブームはまだまだ続きそうな気配。

総括

今回約1年ぶりに韓国を訪れが、展示会、博覧会の類が皆無の為、健康ブームが隆盛なのか以前からみれば下降気味なのかの判断はなかなか難しいが、視察した企業各々が杉・桧を材料に韓国国内では、新たな市場に提供するべく研究・努力されている事は間違いなく、今後、原料として丸太での輸出が主流となるのか一次製品又は完成品としての製品輸出が主となるのかは未だ見えてこないが、ギクシャクした日本・韓国両政府の会話が進み民間レベルでの往来が進めば杉・桧材の韓国輸出は益々増えることであろう。

日田木材協同組合製品共販事業としても、現在進行している阪和興業㈱に加え、今回視察先のお世話頂いたPARK総合商事のパク社長、又、福岡に事務所を持つ社団法人KKICAの孫氏を軸とした韓国市場への働きかけを継続する。

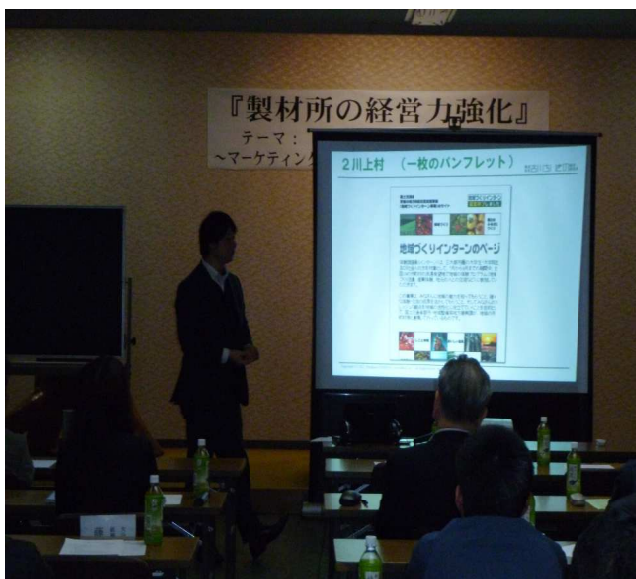
★木材製造業労働災害防止研修会



3月7日午後1時より、日田木材協同組合主催による、木材製造業労働災害防止研修会がおこなわれました。主催者、瀬戸理事長挨拶の後、日田労働基準監督署生野署長のご挨拶を頂戴し、講和に入りました。講和は、森山慎二氏 林業・木材製造業労働災害防止協会 福岡市駐在安全管理士）を迎え、これからの労働災害防止活動と人材育成の重要性」という演題で、講和をして頂きました。組合員及び職員30名の参加がありました。

★日田木材協同組合青壮年会講演会

3月14日午後3時より、林業・製材業の「リデザイン」という演題で、(株)古川ちいきの総合研究所 代表取締役、古川大輔氏による講演が行われた。木材を消費してもらうには、消費者が木材を選んでくれるような製品紹介が必要と話された。



★お知らせ

◎JAS製品 展示会 林野庁長官賞受賞

平成26年2月に行われた第41回JAS製材普及推進展示会で、日田十条が林野庁長官賞を受賞されました。当製材所は5年前にも天皇杯を受賞されており、製品の品質が高く評価されたものです。



◎知事感謝状受賞

障がい者雇用優良事業所で、(株)小田製材所 代表取締役 小田惣一朗氏が受賞されました。おめでとう御座います。

◎顔の見える家づくり補助事業受付開始

今年度は、新築35万円（50棟）、リフォーム5万円（15万円150棟）を限度に補助ができるようになりました。受付は、先着順となっておりますので対象があれば、早めの申請をお願いします。詳細は、木協事務局へお問い合わせください。

◎木材利用ポイント

補助事業延長のお知らせ

昨年から、始まりました木材利用ポイント補助事業が今年度も9月30日までに、延長になりました。杉、桧、カラマツなどの木材を基準以上利用するなどの条件を満たすとポイントがもらえます。木造住宅の新築、増築、一ポイント一円、最高60万ポイントもらえます。詳細は、木協事務局までお問い合わせください。

◎メタセコイアを伐採しました

組合員で購入希望者は、4月30日までに木協総務までお問い合わせください。



4m3本 3m1本 1.616m³

◎職員人事異動

4月1日付け

井上勝喜	総務課長兼資材販売係長
河津末広	製品共販課長
矢羽田康成	原木市場課長
高瀬修哉	原木市場課長補佐
藤井恭司	市場現場係長
宮崎桂一	経理主任兼資材販売係主任
樋口正広	市場現場主任
内藤賢児	市場現場主任
清竹和美	市場係
新原富士子	庶務係
穴井順子	製品共販係
吉田将史	製品共販係 新規採用

※正式移動は、6月2日より異動致します。
4月1日付けで採用されました、吉田将史



新採用の吉田将史

です。製品、乾燥加工係りに配属されました。一生懸命頑張りますのでご指導宜しくお願いします。

◎原木市場より

※素材市を4月8日、4月23日に行いますので、出荷並びにお買い上げ宜しくお願いします。

※市場業務の効率化のため、未引取材の早期取りのご協力をお願いします。